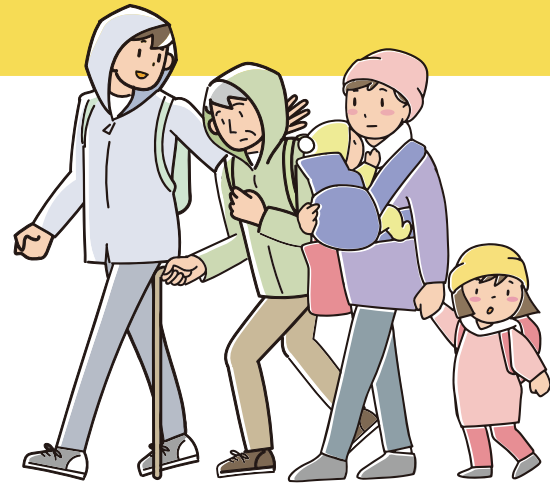


福津市 防災マップ

保存版

2024年(令和6年)版



福津市防災マップには、水防法等に基づく危険区域図や、さまざまな防災情報を掲載しています。
 自然災害はいつ、どこに起きるかわかりません。
 まずは、この防災マップで、身近にある危険な場所を把握し、避難や備蓄について検討してください。
 また、日頃から地域の活動に参加して、災害時に助け合えるご近所づくりをお願いします。

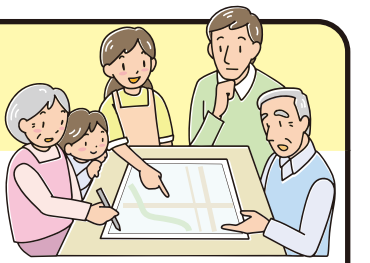
わが家の防災メモ

自宅の災害リスク				
大雨・洪水	土砂災害	津波	高潮	地震
<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> あり
<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> なし
避難の場所				
家族の集合場所				
非常持出品の置き場所				
緊急時の連絡先				
氏名	電話番号(学校、勤務先など)	特記メモ		

- 避難情報
- 大雨・洪水
- 土砂災害
- 高潮
- 津波
- マイタイムライン
- 避難のポイント
- 地域での備え
- 防災対策&非常持出品
- 地震
- 火災
- 防災情報の入手先
- 避難所一覧
- 防災マップ

目次

● 防災マップの使い方 1	● 家庭での備え 14~15
● 避難情報 2	● 地震 16~17
● 情報伝達の経路 3	● 火災 18
● 大雨・洪水 4~5	● 防災情報の入手先 19
● 土砂災害 6~7	● 避難所一覧 20~21
● 高潮 8	● 索引図 22
● 津波 9	● 防災マップの見方 23
● マイタイムライン 10~11	● 防災マップ【各地域】 24~39
● 避難のポイント 12	● 防災マップ【高潮】 40~41
● 地域での備え(自主防災組織) 13	● 防災に関する知識 裏表紙



防災マップの使い方

- 見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。
- 表示してある危険箇所は、土砂災害や浸水被害が発生する可能性がある場所です。自宅周辺の危険箇所を確認しましょう。

- 1 自宅周辺の「危険箇所」を確認しましょう。
- 2 自宅周辺の「最寄りの避難所」を確認しましょう。
- 3 非常時持出品を確認しましょう。
- 4 防災情報を確認しましょう。



まち歩きで事前のチェック

海や川が近い、がけが近い、住宅が密集している、自宅や周囲の建物が老朽化しているなど、地域の条件や状況によって警戒するポイントは異なります。

防災マップを持って「まち歩き」をし、各地域に想定されている災害リスクを事前に確認し、具体的な対策を話し合っておきましょう。



オリジナルマップの作成

家族で話し合ったことなどもふまえ、自宅から指定避難所や親戚・知人の家などの避難場所までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家族で共有しましょう。

- **避難場所**
災害が起きたときの避難場所をチェックしましょう。
- **危険な場所**
川の近くなど、洪水時に危険となるような場所には印をつけておいて、その道は通らないようにしましょう。

- **目印となる場所**
避難経路上で目印となる場所を書き込みましょう。特に曲がり角には分かりやすい目印を書き込みましょう。
- **避難経路**
避難場所までの経路を書き込みましょう。
- **自宅**
あなたの自宅を書き込みましょう。